

第1節 活力ある産業で躍動する

1 農業の振興

背景・前期計画の取り組み・経過

近郊で安全な農作物を提供する農業は重要な産業です。しかし、価格低迷、資材高騰、進めぬ農地の流動化など、経営的には厳しく後継者不足で、産業が弱体傾向にあります。

これに対し、新規就農者の開拓、集落営農などの営農の組織化、特産化への各種の補助でそれぞれ前期目標に近づき、生産基盤整備は概ね目標に達しています。今後も各施策を連携して都市近郊の立地を活かした経営の成り立つ健全な農業の振興を目指します。



1 多様な担い手の育成
 (産業経済部) 前期計画P.97掲載

【課題】

- 農業者が減少し、高齢化が進み休耕地が増大している状況にあることから、農業の担い手の育成・確保が急務となっています。

【施策の展開方針】

- 意欲と能力のある担い手を中心とする農業構造を確立します。
- Uターン者や若手の農業従事希望者も多様な担い手に位置付け、就農出来るよう農地の斡旋を図ります。
- 一般の株式会社が農業に参入しやすい環境を整えます。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
担い手数(認定農業者*・集落営農組織)(経営体)	136	146	↗	161
認定農業者数(人)	104	104	→	110
新規就農者数(人)	26 (※H19年数値)	43	↗	60
集落営農組織数(団体)	32	42	↗	51

【主要事業】

- 農業担い手の育成支援事業(農業担い手の掘り起こし・育成を行う協議会を支援・集落営農組織化の支援)
- 若い農業者等就農促進事業(45歳未満の青年農業者へ就農資金の交付)
- 新規就農等施設等整備事業
- 農地流動化推進事業(農地の貸し借りの促進事業)



若い農業者による担い手の確保



大規模経営体による効率的な農業作業

2

地域の特色ある生産構造の構築と地産地消

(産業経済部) 前期計画P.97掲載

【課題】

- 依然として米の品質が低下傾向にあります。
- 農業産出額が年々減少傾向にあります。
- 既存の地域ブランド製品について生産量が減少傾向にあります。
- 畜産農家における後継者が不足しています。

【施策の展開方針】

- 生産者団体と連携し、良質米の生産に取り組みます。
- 地域の固有の特産農産物、新たな特産品の開発・生産振興を図ります。また、都市近郊の立地を活かし地元市場をはじめとした流通販路の拡大、学校給食への提供など地産地消*を進めるとともに、牡丹については海外への輸出も積極的に推進します。
- 和牛・乳牛の飼養頭数拡大・優良牛の保有・担い手育成に向けた支援に努めます。また、放牧事業の推進、良質堆肥の耕種農家*への供給による循環型農業、環境にやさしい農業の推進を図ります。
- 民間や高齢者の取り組みによる地域農業の振興について、耕作放棄地、施設の活用法も含めて検討します。

【指標】

目標指標	参考値 H19	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
そば作付面積(ha)	102	133 (※H23年数値)	→	133
牡丹生産量(万本)	180	137	↗	167
産地直売実績(百万円)	-	623	↗	640

【主要事業】

- 特産物振興対策事業(地域ブランド産地育成事業、大根島牡丹振興対策事業、産地競争力強化対策支援事業)
- 地場農産物生産・消費拡大推進事業(給食用ほか地場産野菜の契約栽培事業助成)
- 新特産物創造対策事業(アウトウ試験栽培助成)
- 松江市農林水産祭の開催
- 肉用牛・乳用牛振興対策事業(繁殖雌牛更新増頭対策事業、乳用牛導入事業)



松江 大根島牡丹



農林水産祭

用語の解説

- 認定農業者** 規模拡大、生産方式の合理化、農業従事者の態様の改善などを内容とした農業経営改善計画を自ら策定し、市の認定を受けている農業者で効率的かつ安定的な農業経営を目指して農業経営改善に努めている農業者のことです。
- 地産地消** 地域産地消費の略語
- 耕種農家** 畜産農家でなく、田畑などの耕地を使用して農作物などを栽培生産している農家のことです。

第1節 活力ある産業で躍動する

1 農業の振興

3

優良農地の確保と生産基盤の整備

〔産業経済部〕
〔前期計画P.98掲載〕

【課題】

- 安定的農業経営が出来る農地を保有する担い手が少なく、また、耕作放棄地も増加しています。
- 優良農地は年平均で約20haが転用されていますが、本市の重点作物を中心とした生産地域として、農地の利用集積を促しながら、これを確保する必要があります。

【施策の展開方針】

- 松江農業振興地域整備計画を5年ごとにローリングし、優良農地を適正に確保します。
- 農地の利用集積・流動化*の促進を図り、経営規模の拡大につなげるとともに、耕作放棄地の拡大を防止します。
- 中山間地域の農業と集落の維持・活性化を図る「中山間地域等直接支払事業」を積極的に推進します。
- 農家と非農家と一緒にやって行う水路の泥上げなどの地域の共同活動に取り組む活動組織への交付金交付による活動支援を行います。
- 農産物の流通合理化、農村地域の生活利便性向上に資する農道及び農村集落間を結ぶ連絡道の整備を図ります。
- 老朽化した農業用ため池については、防災上の観点からも改修を進めます。
- 農業用施設の改修については、農業者が事業主体となって整備を進めることが出来る制度を創設し、整備に要する農家負担の軽減を図ります。

【指標】

目標指標	参考値 H19	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
農道延長(km)	99.3	118.1	↗	120.4
農道舗装延長(km)	80.8 (※H18年数値)	104.5	↗	110.8
協定農用地面積(共同活動支援)(ha)	-	1,030	↗	1,200
担い手農地集積率(%)	20.2	20.8	↗	33.0

【主要事業】

- 豊かな土づくり事業
- 農地・水保全管理支払交付金(共同活動支援)
- 農道延長
- 危険ため池緊急整備事業
- 市単基盤整備事業
- (再掲)農地流動化推進事業
(農地の貸し借りの促進事業)
- 耕作放棄地再生事業



くびきキャベツの生産拠点(中海干拓損屋工区)

用語解説

農地の利用集積・流動化 地域の担い手農業者(認定農業者、新規就農者、集落営農組織(団体)など)に対し農地を貸し出す(流動化)ことにより農地の集積を図り、農作業の効率化と経営規模拡大を行うことです。

4

鳥獣被害対策

〔産業経済部〕
〔前期計画P.98掲載〕

【課題】

- 有害鳥獣による農作物の被害は依然として高い数字となっており、被害防除対策を実施することで営農意欲を高め、担い手の減少に歯止めをかける必要があります。

【施策の展開方針】

- イノシシなどの有害鳥獣の被害を防止するために、猟友会との連携による捕獲活動や被害防除施設の設置に対する支援を積極的に行います。
- ヌートリアについては、被害農家による防除の推進を図ります。

【指標】

目標指標	参考値 H19	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
有害鳥獣による農作物被害額(万円)	267	1,336	↘	350

【主要事業】

- 有害鳥獣駆除対策事業
- ヌートリア防除事業



捕獲されたイノシシ



捕獲されたヌートリア

第1節 活力ある産業で躍動する

2 林業の振興

背景・前期計画の取り組み・経過

森林は温暖化抑制など大切な存在ですが、木材価格の低迷や林道の不備で搬出が困難など、経営的に厳しく後継者不足により産業が弱体化し、山地崩壊など荒廃が進んできました。

前期は、緊急雇用創出事業による里山^{*}再生事業などにより、従事者は増加傾向にあり、また、林道整備も目標どおりに進んでいます。今後は、林業の循環システムの構築と搬出経費の削減とあわせて、地域の活性化や農山村地域の生活の利便性向上を目指します。



1

担い手の育成と確保

〔産業経済部〕
〔前期計画P10掲載〕

【課題】

- 林業担い手の確保や育成、また森林組合が主体となった多くの造林、保育事業を実施することにより、森林資源の保護・育成とあわせ森林の多面的機能^{*}の維持・保全を図るため、森林組合の経営基盤強化が必要です。

【施策の展開方針】

- 森林組合の経営多角化や組織強化による経営基盤の強化を促し、林業担い手の確保・育成を図ります。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
森林組合関連従事者数(人)	48	40	↗	50

【主要事業】

- 緑の担い手育成事業
(社会保険料などの事業主負担に対する助成)



森林組合による地植え(じごしらえ)

2

森林資源の保全と活用

【課題】

- 森林は国土の保全、水源涵養^{*}など多面的な機能を有しています。荒廃森林の減少に向け、造林、保育とあわせて、近年拡大している竹林対策の推進、里山も含めた森林資源の機能低下を防ぐ取り組みが必要です。

【施策の展開方針】

- 分収造林^{*}、一般造林^{*}事業により人工林の新植、間伐など保育の推進を図り森林資源の保護・育成に努めるとともに、間伐材の有効利用を推進します。
- 国土保全、水源涵養等森林の持つ多面的な機能の維持・発展を図るために森林所有者、森林組合とも連携を図り、森林資源の保護・育成に努めます。また、森林への竹林拡大による森林機能低下に対応するため、竹の堆肥化などによる竹の有効利用を進めます。

〔産業経済部〕
〔前期計画P10掲載〕

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
森林整備保育面積(ha)	132	200	→	200

【主要事業】

- 拡大造林事業(私有林の保有事業に対する助成)
- 市営造林事業(市有林・分収林の保護育成)



森林組合による下刈

3

林道の整備

〔産業経済部〕
〔前期計画P10掲載〕

【課題】

- 森林資源の活用・管理を図っていくためには、木材搬出経費の削減とあわせ、農山村地域の生活利便性の向上を目指し林道整備を進める必要があります。

【施策の展開方針】

- 森林資源の活用・管理及び農山村地域の生活環境整備のために林道の整備・改良に努めます。

【指標】

目標指標	参考値 H19	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
林道延長(km)	120	129	↗	150
林道舗装率(%)	67	69	↗	80

【主要事業】

- 県営林道開設事業
- 林業専用道整備事業
- ふるさと林道整備事業
- 林道舗装事業



林道舗装(路床軽圧状況)



林道開設(側溝据付状況)

用語の解説

里山 人里近くの樹林地またはこれと草地、湿地、水辺などが一体となった土地を言います。

多面的機能 農林業を営むことで、食料や木材の供給以外にもたらされるプラス効果。地域経済維持機能、国土・環境保全機能、人間教育機能、伝統・文化継承機能などがあります。

水源涵養 森林の土壌が降雨を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して、洪水を緩和するとともに、水質を浄化し良質な水を供給する機能のことです。

分収造林 土地を借りて造林又は育林し、利益を所有者と分けあうこと(分収)で造成された森林のことです。

一般造林 国などの造林補助金を受けて人工的に造林する制度。造林補助事業には「一般造林事業」をはじめ、「流域森林総合整備事業」などがあります。

第1節 活力ある産業で躍動する

3 水産業の振興

背景・前期計画の取り組み・経過

本市は、豊かな海に恵まれていますが、水産業は水産資源の減少や魚価の低迷で経営的に厳しく後継者不足の状態にあります。また、シジミの漁獲も環境の変化で減少傾向にあります。

前期は、施設整備や放流事業は概ね目標に達し、新規漁業者もH18年以後、約10数名と効果が出てきています。今後は漁業施設の整備に加え、漁業者と関係機関が一体となって、自主的な資源管理と、水産資源をつくり育てる資源培養管理型漁業*を目指します。



1

海面漁業の基盤整備

〔産業経済部〕
〔前期計画P108掲載〕

【課題】

- 水産物の安定的供給に加え、交流を提供する場など、多面的機能の発揮を視野に入れた整備を実施してきました。しかし、生産基盤としての機能が十分とは言えない箇所もあり、引き続き基本的な漁港機能を整備する必要があります。

【施策の展開方針】

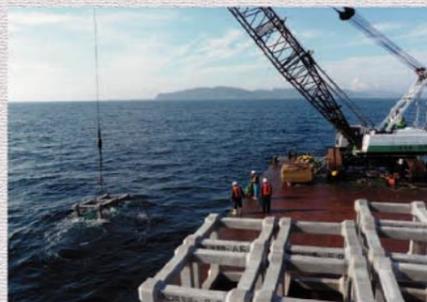
- 漁港内作業の円滑化やしけの安全係留に対応した漁港施設の整備を推進します。
- 地域活性化や高齢者及び女性に配慮した、より安全で、円滑な漁業生産活動が営める漁港施設の整備を推進し、利便性の向上並びに航行の安全確保を図ります。
- 安心安全な水産物の供給を行うため、水産物の衛生管理に対応した施設整備を進めます。
- 漁業生産の維持増大と操業の効率化を図るため、漁場の造成を進めます。
- 中海の漁業振興を県や周辺自治体、漁業団体と連携し振興を図ります。

【指標】

目標指標	参考値 H19	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
漁港の整備箇所数(箇所)	11	13	↗	17
漁獲量(海面)(t)	7,131	9,365	↗	13,000
漁獲販売額(海面)(万円)	287,220	339,980	↗	450,000

【主要事業】

- 水産物ブランド確立事業(漁業施設整備に対する支援、イベントPR活動など)
- 栽培漁業振興施設運営事業
- 農山漁村地域整備交付金事業(漁港施設整備、漁場造成など)
- 港湾・漁港高度利用推進事業(防波堤などの整備)



魚礁設置事業



定置網漁業

2

漁業担い手の育成及び確保

〔産業経済部〕
〔前期計画P108掲載〕

【課題】

- 漁業就業者は、魚価低迷などの影響から減少を続け、加えて高齢化も進んでいます。漁業生産を維持・発展させていくためには、漁業内外から多様な担い手を確保・育成することが急務となっています。

【施策の展開方針】

- 漁業団体などと協力して就業希望者に対して支援を行い、新規就業者の受入体制を整備するとともに、あわせて意欲的な漁業就業者の育成を図ります。
- 漁業関係団体との連携により、将来にわたって収益が安定し、継続的に漁業活動を担える漁業を進めます。
- 経営改善を図るために法人化を志向する漁業者グループによるモデル的な取り組みや漁村女性グループによる起業的活動*の取り組みを支援します。
- 市内の小学生を対象に水産業に理解を深めてもらうため学習の場を提供します。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
漁業就業者数(人)	-	1,544	→	1,500

【主要事業】

- 新規自営漁業者定着支援事業(定着支援のための資金貸付)
- 後継者対策事業(水産教室)



マタイ稚魚体験放流

用語の解説

資源培養管理型漁業

稚魚の放流や育つ場所づくり、網をひく回数を減らすなど、将来に向けた人為的管理を積極的に行うことにより海にいる魚の数を増やす漁業のことです。

起業的活動

新しく事業をはじめするための取り組み

第1節 活力ある産業で躍動する

3 水産業の振興

3

つくり育てる漁業の推進

〔前期計画P103掲載〕

【課題】

- 「島根県栽培漁業基本計画」に基づきマダイ、ヒラメ、アワビなどの種苗放流を実施し、漁獲量の安定に貢献してきました。今後は、放流効果や経済性を考慮して、対象種や事業内容の重点化を図り、より効果の高い栽培漁業*の実現を目指す必要があります。

【施策の展開方針】

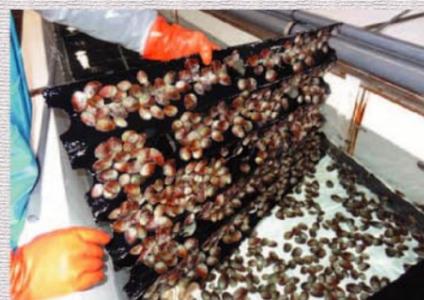
- 「獲る漁業」から「つくり育てる漁業*」を基調とした資源管理型漁業*への転換を図っていきます。
- マダイ・ヒラメなどの回遊性魚類、アワビなどの定着性の高い貝類の放流や養殖を積極的に進めます。
- 沿岸漁業の安定的な生産増大を推進するため、漁場・増殖場の計画的かつ重点的な整備を進めます。

【指標】

目標指標	参考値 H19	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
養殖アワビ生産量 (t)	0.1	0.8	↗	4.0

【主要事業】

- 強い水産業づくり交付金事業（種苗放流事業など）
- 種苗放流事業（海面、内水面）
- アワビ養殖関係事業



アワビ種苗中間育成

用語の解説

- 栽培漁業** 魚介類の種苗(稚魚)を大量に生産し、中間育成して海に放流し、成魚を漁獲する漁業です。
- つくり育てる漁業** 人工的に魚介類を生産し放流したり、育成の場を作って資源を増やす取り組みです。
- 資源管理型漁業** 限りある水産資源を持続的に利用するため、資源を保護管理しながら計画的に漁獲する取り組みです。

4

内水面漁業の振興

〔前期計画P103掲載〕

【課題】

- H17年までは7,000t前後であったシジミの漁獲量は、H20年には、3,700tと年々減少状況にあります。また、七珍の一つであるワカサギも近年ほとんど漁獲されていません。これらの資源の維持再生に向け、施策を推進する必要があります。

【施策の展開方針】

- 資源の維持増大を図るため、稚魚の放流やシジミの採苗放流を継続して行います。
- 利用頻度の低下した漁場の改善を図るため、国・県・漁協及び近隣市町と連携して取り組みます。
- 係留漁船と漁労の安全確保を図るため、船溜りの維持管理に対し支援を行います。

【指標】

目標指標	参考値 H19	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
漁獲量(内水面) (t)	4,888	3,784	↗	7,900
漁獲販売額(内水面) (万円)	263,551	237,865	↗	370,000

【主要事業】

- 浚渫事業（海底、川床などの土砂掘削）
- 宍道湖漁業資源維持再生事業（シジミ漁場改善、ワカサギなどの産卵場確保など）



シジミ採苗放流事業



竹林型増殖施設設置事業

第1節 活力ある産業で躍動する

4 商工業の振興

背景・前期計画の取り組み・経過

本市では、小売業や製造業の衰退によって生じた地域の商業機能の低下や雇用の減少といった課題を解決するため、商店街の振興や商工業者の育成・支援、企業誘致の推進などの商工業振興に取り組み、前期の目標を概ね達成しました。今後はこれらの施策に加え、地場産業*の活性化を図り、地域ブランドのPRや農水商工連携、買物ビジネス参入支援、Ruby City MATSUEプロジェクト**、ものづくり産業の振興などにより商工業の振興を図ります。

1

地場産業の活性化

〔産業経済部〕
〔前期計画P106掲載〕

【課題】

- 市内の和菓子・来待石灯ろう・出雲民芸紙・出雲杜氏などの伝統産業や松江発の特産品・商品・技術力などの「メイドイン松江」の地域資源の知名度を高めることが難しいため、販路の開拓が十分に進んでいないという面があります。

【施策の展開方針】

- 伝統産業の技術継承、後継者育成、販路拡大を支援します。
- 市内IT産業やものづくり産業の一層の振興を図ります。
- 産業間の連携や各産業の競争力の強化を支援し、地域ブランド力を高めていくことで販路拡大や効果的な流通・消費を図ります。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
販路拡大のための展示会(回)	—	3	↗	5

【主要事業】

- 商工業振興対策事業(NEW松江菓子海外市場開発事業費補助、台湾・ロシア貿易観光促進事業)
- 地域ブランドPR・販路拡大事業
- 農水商工連携推進事業



NEW松江菓子及びPRパンフレット

2

ものづくり産業の振興・新産業の創出

〔産業経済部〕
〔前期計画P106参照〕

【課題】

- 製造業においては、世界的な金融危機・円高などの影響を受けた国内不況、原子力災害の影響などにより、出荷額、受注量の減少や輸出不振など厳しい状況にあります。
- 下請け業務が中心の中小企業は、自社独自の技術開発力や営業力が不足しているため、受注機会の拡大や新規取引先の開拓が進まない状態です。
- 経済のグローバル化と長引く経済不況の中で、既存のビジネスモデルの再検討や新たな分野への挑戦が求められています。

【施策の展開方針】

- 旧東出雲町との合併を踏まえ、裾野の広い、ものづくり産業を振興するため「ものづくりアクションプラン」を策定し、販路拡大・新規受注のための企業の技術力向上や新商品の開発に向けた取り組みを支援します。
- 産業人材育成や新技術・新製品の研究開発、設備投資などを支援するとともに、ソフトビジネスパーク島根を拠点に産官学の連携を一層推進し、新分野における産業の創出や競争力のある新製品の開発に結び付けていきます。
- 引き続きRuby City MATSUEプロジェクトを推進し、市内IT産業の振興を図ります。
- 市場競争力のある新たなソフトウェアや新技術・新商品の開発や販路拡大に取り組む企業を支援します。
- 起業・創業の取り組みを積極的に支援します。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
Ruby学生人材育成者数(人)	—	75	↗	80

【主要事業】

- ものづくりアクションプラン策定事業
- (再掲)商工業振興対策事業(松江市開発交流プラザ運営事業、Ruby City MATSUEプロジェクト事業、中小企業技術力向上補助、インキュベーション施設卒業企業家賃補助)



中学生Ruby教室

用語の解説

地場産業
Ruby City MATSUE
プロジェクト

地域の素材や資源を利用して特産品を製造する産業のことです。
松江市在住のエンジニアが開発した世界的に有名なプログラミング言語「Ruby」を核とする新たな地域ブランドや産業創出の取り組みのことです。

第1節 活力ある産業で躍進する

4 商工業の振興

3

商工業者の経営支援

〔前期計画P.108参照〕
〈産業経済部〉

【課題】

- 地域の企業は、世界的な金融危機・円高の影響を受けた国内不況、原子力災害の影響などにより、受注量の減少や輸出不況など厳しい状況にあり、資金繰りや経営状況が悪化することに不安を抱えています。

【施策の展開方針】

- 経営革新や新分野進出などに取り組む意欲ある企業を県や他の支援団体と連携して積極的に支援します。
- 商工会議所や商工会、信用保証協会、中小企業団体中央会などと連携して、商工業者の経営支援を行います。

【指標】

目標指標	参考値 H19	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
製造品出荷額(工業統計)(百万円)	96,461	110,804	→	116,000
小売業の年間商品販売額(百万円)	210,568	—	→	225,000
小売業の事業所数(箇所)	1,944	2,197 (※H21年数値)	→	2,200
小売業の従業者数(人)	12,361	14,830 (※H21年数値)	→	14,800

【主要事業】

- 信用保証料^{*}補給事業
- (再掲)商工業振興対策事業(販路開拓補助、新製品新技術開発補助)



機械要素技術展(東京)

4

中心商店街・地域商業の振興

〔前期計画P.108参照〕
〈産業経済部〉

【課題】

- 中心市街地の商店街や旧町村各地域の個店では大型店・ナショナルチェーンの進出や後継者不足のために、空き店舗が増加したため、商店街が衰退し、地域の商業機能自体が維持出来なくなりつつあります。

【施策の展開方針】

- 魅力ある商店街や地域商業づくりを推進するための振興計画策定や商業環境整備、商店街の活性化を図る自主的な取り組みを支援します。
- 中心市街地、観光エリアに隣接する商業集積地及び旧町村各地域での空き店舗を活用して新たに商売を行う際に家賃補助を行い、商店街の形成、地域の商業機能の維持を支援します。
- 商店街において店舗を新設・改造する際の資金を低利で融資します。
- 商店街や地域商業の活性化を図るとともに、まちあるき観光推進事業とも連携しながら個店の魅力を一層高めるための商品や特産品の開発を支援します。

【指標】

目標指標	参考値 H19	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
中心商店街 [*] 等の商店数(箇所)	309	364	→	300
中心商店街等の従業者数(人)	1,591	—	→	1,600
中心商店街等の年間商品販売額(百万円)	25,476	—	→	25,000
空き店舗入居者への新規家賃補助件数(件)	—	13	→	10

【主要事業】

- 街づくり資金制度融資(テナント事業近代化資金融資)
- 商店街活性化事業
(チャレンジショップ支援事業補助、商店街振興補助、商業環境整備事業補助)



空き店舗の活用

アーケードの改修

用語の解説

信用保証料 中小企業者が金融機関から事業資金を借入れる際、信用保証協会が公的な保証人になることにより資金調達が容易にし、中小企業金融の円滑化を図ることを目的とした制度が「信用保証制度」であり、その保証を受けるために保証協会に支払うものを「信用保証料」と言います。

中心商店街 市町村の人口や規模にかかわらず、相当数の小売業者、都市機能が集積している市街地にあり、商店が集まっている地区を言います。市内では、松江京店商店街、松江新大橋商店街、松江天神町商店街、松江中央通商店街、松江天神町商店街、松江中央通商店街、北殿町商店会、茶町商店街、松江本町商店街、松江駅本通り商店会、南殿町商店会、末次本町えびす商店会、北寺町商店会、夕テ町商店街の12商店街があります。

第1節 活力ある産業で躍動する

4 商工業の振興

5

地域商業機能の維持向上

〔産業経済部〕
〔前期計画P106参照〕

【課題】

- 中山間地域*や中心部の高台の団地などでは、高齢化、人口減少による購買力の流出のため商店数が減少し、これにより食料品や日用雑貨が地域内で購入出来ず、高齢者を中心とする地域住民の消費活動に支障が生じている状況があります。

【施策の展開方針】

- 中山間地域や高台の団地などでの商業機能の維持・向上を図るための支援を行います。
- 民間事業者を支援することで買物不便地域の利便性向上に取り組みます。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
買物不便地域で新たに営業開始する事業者(事業者)	-	-	↗	2

【主要事業】

- (再掲)商店街活性化事業(中山間地域商業機能維持・向上支援事業)
- (再掲)商工業振興対策事業(買物ビジネス参入支援事業)



移動販売車 ▶

6

農水産業との連携推進

〔産業経済部〕

【課題】

- 農水産業者(生産品)と商工業者(加工・販売業者)のお互いのニーズの情報共有やマッチングが十分に行われていないため、地域の農水産物や商工業者の技術などが活かされていない状況があります。

【施策の展開方針】

- 地域資源の見直し、発掘を行い、農林水産業や観光、他業種と連携させることで付加価値を生み出し、新商品の開発、市場開拓を推進します。
- 農林水産業と製造業やIT産業の連携を支援することにより、作業の省力化や、各産業の抱える課題の解決につながる新製品、新技術の開発を支援します。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
新商品・サービスの品目数(個)	-	23	↗	50

【主要事業】

- (再掲)商店街活性化事業(農水商工連携*推進事業)



農林水産祭出展 ▶

7

企業誘致の推進

〔産業経済部〕
〔前期計画P106掲載〕

【課題】

- 定住を促進するためには雇用の場を創出していくことが求められます。
- 新たな企業誘致や既存企業の増設の支援に力を入れていく必要があります。

【施策の展開方針】

- 本市の特徴的な優遇制度を広く情報発信します。
- 島根県などと連携を図り、工業団地未分譲地への積極的な企業誘致活動を進めます。
- 企業立地奨励制度の拡充を図ります。
- 雇用吸収力や本市産業への経済的、技術的波及効果が高い企業の立地を促進します。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
松江湖南テクノパーク分譲率(%)	72.55	95.38	↗	100
朝日ヒルズ工業団地分譲率(%)	39.54	46.06	↗	100

【主要事業】

- 企業立地奨励補助事業(松江市企業立地奨励条例に基づく各種補助制度)
- 企業立地支援補助事業(電気料金補助制度)
- 情報サービス産業等立地促進補助事業(オフィス家賃補助制度)



(株)イーウェル 松江オペレーションセンター



松江第一精工(株)



三宝化成工業(株) 松江工場

用語の解説

- 中山間地域 島根県中山間地域活性化基本条例に定義する地域で、松江市では次の地域が該当します。島根町、美保関町、八雲町全域、鹿島町旧御津村、玉湯町「辺地」城床、宍道町「辺地」小林、和名佐
- 農水商工連携 農林漁業者と商工業者などが通常の商取引関係を超えて協力し、お互いの強みを活かして売れる新商品・新サービスの開発・生産等を行い需要の開拓を行うことです。

第1節 活力ある産業で躍動する

5 雇用環境の整備

背景・前期計画の取り組み・経過

元気で活力を有するまちであり、また、若い人達の人生のために雇用の確保は重要です。
 前期では、H19年、高校生への就職相談員を配置し、高校と協力しながら地元企業の求人開拓、H21年から県外大学生への情報として、「まつえ就職ナビ」を開設、勤労者への福祉として東部勤労者共済会の広報などで効果を上げました。今後も、相談員の活動・大学生への情報提供を強め、松江市の活力向上を目指し、若い人達の人生設計を支えます。



1 就業支援
〔産業経済部〕
〔前期計画P110掲載〕

【課題】

●若者の県外流出の抑制を図るため、県内外の新卒者をはじめとする若者の求職者に対する積極的な企業(求人)情報の提供や相談体制を充実させ、働く場と人との的確なマッチングを行うための環境づくりが必要です。

【施策の展開方針】

●宍道湖・中海圏域の広範なエリアを対象とした求人企業の開拓を行い、収集した情報を求職者に対して迅速に提供します。
 ●ふるさとキャリアアドバイザーを配置し、個々の求職者をサポートします。
 ●雇用支援機関と連携しながら、U・Iターン希望者へ定住情報の提供を行います。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
松江管内の高卒者の県内就職内定率(%)	—	84	↗	85

【主要事業】

- 企業誘致、地場産業の振興
(林業・水産業・工業・商業の振興の各主要事業)
- 松江市新規学卒者雇用奨励助成金支給事業
- 「まつえ就職ナビ*」・「ワークネットまつえ*」による地元企業の情報発信
- まつえ就職ナビ掲載企業合同就職ガイダンスの開催
- 新規学卒者等求職者に対する就職相談

市が主催する就職ガイダンス

2 勤労者福祉の充実
〔産業経済部〕
〔前期計画P110掲載〕

【課題】

●中小企業が大半である本市では、勤労者の福利厚生面において個別企業での対応は困難であるため、(財)島根県東部勤労者共済会*を設立し、各種福利厚生事業を行っています。共済会の安定的な運営を図るため一層の加入促進を図る必要があります。

【施策の展開方針】

●制度PRを行い、会員の加入促進を図ります。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
(財)島根県東部勤労者共済会加入会員数(うち松江市)(人)	17,629	23,562	↗	24,000

【主要事業】

- 慶弔給付事業、健康診断事業、リフレッシュ事業
- ホームページ掲載

働くみんなのパートナー ジョイメイトしまね JOYMATE SYSTEM

設立の目的: 「ジョイメイトしまね」は、島根県と松江市が設立した法人です。中小企業勤労者のための総合的な福祉事業を行うことにより、中小企業の雇員、地域社会の活性化に寄与することを目的としています。

会員へのサービス: ①各種健康診断、人間ドック、鍼灸・マッサージに補助があります。②慶弔給付金、災害見舞金を支給します。③日帰りから海外旅行まで各種旅行の補助や各種チケットの割引制度をおこないます。④資格取得試験受験料などの補助が受けられます。⑤中小企業退職金共済制度や生活資金融資を紹介しています。

ご入会ください! ジョイメイトしまねが、社員の皆さんの福利厚生をサポートします!

割引制度 5%以上割引、健康診断 6,000円補助、ジョイメイト専任ツアー 1,000円～10,000円補助、ツアー 2,000円割引、先着数限り 5,000円～10,000円割引、各種ネット購入補助、まつえ就職ナビ掲載企業 2,000円補助、新規入社 10,000円補助、健康診断 10,000円補助、本業研修 1,500円プレゼント、各種セミナー 5,000円～10,000円補助

ぜひご入会ください! ジョイメイトしまね (財)島根県東部勤労者共済会 TEL. 28-5555

用語の解説

- まつえ就職ナビ** 新規学卒者を対象とした、松江市及び松江市周辺の地元企業の採用情報などを紹介したポータルサイトです。
- ワークネットまつえ** 求職者全般を対象とした、松江市及び松江市周辺の地元企業の求人・求職情報サイトです。
- 東部勤労者共済会** 中小企業勤労者を対象に大企業並みの福利厚生事業を展開することが困難な中小企業に対し、同一制度の下で事業を共同実施することによって総合的な福祉事業を行う団体です。

第2節 観光都市の魅力を高める

1 観光の振興

背景・前期計画の取り組み・経過

風光明媚で歴史と文化を有する本市には、多くの観光客が訪れていますが、本市の主要産業としてさらに観光振興を図る必要があります。

前期では、開府400年祭イベントの実施を通して松江の魅力を再認識するとともに、育まれたおもてなしの心・知識・愛着を活かして活動につなげるひとづくりも進んできました。また新しい観光スタイルである「まちあるき」もスタートしています。今後は、情報発信を強め、さらなる誘客を図りながら、観光振興を通じて地場産業の振興を目指します。



1

観光資源の活用

〔前期計画P113掲載〕
〈観光振興部〉

【課題】

- 観光客にとって、魅力的で満足度の高い観光地となるため、風光明媚な自然、歴史や伝統文化に満ちた豊富な観光資源を活かし、松江ならではの観光プログラムや観光コースの創出が必要です。

【施策の展開方針】

- 大山隠岐国立公園に指定されている島根半島、宍道湖や中海など豊かな自然や様々な観光資源に磨きをかけ魅力を高めるとともに、体験プログラムの充実を図ります。
- 開府400年祭を通じて顕彰した松江城を中心とした城下町松江の風情を活かし、松江の歴史や文化のさらなる継承、発展に取り組み、観光資源として活用していきます。また、観光振興のための人材育成の充実に努めます。
- 観光施設や観光スポットなど豊富な資源に磨きをかけるとともに効果的に結びつけ、多様な観光ニーズに対応したテーマでたどる魅力あるルートを設定します。

【指標】

目標指標	参考値 H19	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
観光入込客数(万人)	860	876	↗	1,000

【主要事業】

- 体験型観光推進事業(体験プログラムの充実、情報発信など)
- 松江ブランド推進事業(松江のイメージ「城下町松江」、「国際文化観光都市松江」などの定着促進)
- 観光ルートづくり事業(モデルコースの策定、情報発信など)



宍道湖の夕日

2

まちあるき観光の推進

〈観光振興部〉

【課題】

- まちあるきをしながら、買物や食事をする事で、地元経済への波及効果が高まります。商店街や地域住民の協力を得ながら、コースの魅力を高めていく取り組みが必要です。

【施策の展開方針】

- 観光施設をめぐる観光だけでは体験することの出来ない「まち」を楽しむ観光スタイルの充実と定着に市民参加で取り組みます。
- まちあるきの魅力を高めるためには、おもてなしの充実が必要です。ボランティアガイドをはじめとした人材育成に取り組みます。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
定時ガイドコース参加者数(人)	-	-	↗	8,000
ガイド養成数(人)	-	-	↗	330

【主要事業】

- まちあるき観光推進事業
(まちあるきコースの充実、ガイド養成、情報発信など)



まちあるきマップ ▶



「松江まちあるき」ガイドの説明を聞く参加者 ▶



第2節 観光都市の魅力を高める

1 観光の振興

3

産業と連携した観光の推進

〔観光振興部〕
〔前期計画P14掲載〕

【課題】

- 伝統工芸品や特産品、伝統文化を観光に活用したり、観光イベントを効果的に開催するなど、観光客にとって魅力的な観光メニューの提供が十分に出来ていないため、観光消費額の拡大につながる工夫が必要です。

【施策の展開方針】

- 地域の食材を活かした料理や郷土料理の振興、新たな郷土食の開発などを行い、地域の「食」の魅力を高めます。
- 既存の観光統計に加え、観光イベント経済波及効果や観光客満足度など、観光動態に関する調査を行い、今後の観光施策の計画・立案のための基礎資料として活用していきます。
- 地域への経済波及効果が高まるよう、生産や消費が圏域内で循環・波及する観光産業を推進します。
- 地域素材を活かした特産品のものづくり体験や、企業の理解を得て行う工場見学など、地域の産業を資源とした観光に取り組みます。

【指標】

目標指標	参考値 H19	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
まつえ暖談食フェスタ来場者数(人)	88,228	88,175	↗	90,000

【主要事業】

- 地域産業連携推進事業(観光消費額の拡大につながる仕掛けづくり)



まつえ暖談食フェスタ

4

情報発信の充実

〔観光振興部〕
〔前期計画P113掲載〕

【課題】

- 本市は豊富な観光資源に恵まれている一方で、松江の見どころ、行事やイベント、観光コースや移動手段などの情報が、一元的かつ効果的に伝えられていない状況があります。

【施策の展開方針】

- 関係団体などの観光情報を集約し発信の一元化を図ります。また、広域連携による情報発信など、有効なツールの活用を図り、官民連携した情報発信に努めます。
- 全国からの誘客を図る上では、継続してプロモーションを実施することが重要です。今後も引き続き全国に向けたプロモーションを展開します。
- 観光客に対し、求める情報が的確に伝わるための情報発信体制の充実を図ります。あわせて、既存の観光案内所などの機能強化を図っていきます。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22 (東出雲町を含まない)	目指す方向	目標値 H28
松江市観光公式HPアクセス月平均数(件)	-	87,315	↗	200,000

【主要事業】

- 観光情報発信事業(様々な広報媒体を活用した効果的な情報発信)
- 観光コンシェルジュ*事業(国際観光案内所スタッフによる相談対応・観光プラン提案等)



松江国際観光案内所(JR松江駅前)

用語の解説

観光コンシェルジュ 観光客の問い合わせに答えたり、観光プランの提案や旅のコーディネートを行うスタッフのことです。

第2節 観光都市の魅力を高める

2 滞在型観光の推進

背景・前期計画の取り組み・経過

本市を訪れた延べ宿泊者数及び客室稼働率は、全国でそれぞれ34位と8位(※)となっています。今後は、団塊の世代などゆとりのある世代はもとより、季節を問わず誘客の期待が出来る若者をターゲットに、夜のイベントや温泉と食など観光地としての魅力の向上、尾道・松江線を活用した広域連携などにより、さらに訪れる観光客と宿泊客の増加を目指します。

※2010年国土交通省観光庁、宿泊旅行統計 東京特別区部除く



1

滞在型観光の推進

〔観光振興部〕
〔前期計画P14掲載〕

【課題】

- 経済効果を高めるため、宿泊地として選ばれる魅力づくりや夜間に楽しめるイベントや賑わいの創出などの工夫が必要です。

【施策の展開方針】

- 玉造温泉や松江しんじ湖温泉の特徴・イメージを明確にし、強くアピールするとともに、地域の連携強化によりブランド力のある温泉街の賑わいづくりに努めます。
- ライトアップや夜間イベントの実施など様々な夜の松江を楽しむ企画に取り組みます。

【指標】

目標指標	参考値 H19	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
松江市内宿泊客数(万人)	196	208	↗	240

【主要事業】

- 滞在型観光推進事業
(宿泊地としての魅力向上、夜間イベントの実施など)



玉造温泉(玉湯川)



松江水燈路

2

広域連携による観光の推進

〔観光振興部〕
〔前期計画P14掲載〕

【課題】

- 様々な広域連携体制が構築されてきています。広域観光推進を通じて圏域内での滞在時間を増やし、経済波及効果をより増やしていくことが必要です。

【施策の展開方針】

- 広域観光を推進するため、出雲路をエリアにした「神話の国 縁結び観光協会」や、宍道湖・中海圏域における各協議会などとの連携を図ります。
- 中国横断道路尾道松江線の開通も見据え、山陰はもとより、山陽地域との広域観光ルートも確立し誘客を図ります。
- 広域観光ルートを主体とした情報の共有化や発信など関係機関の協力体制を確立します。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22 (2カ月前の実績)	目指す方向	目標値 H28
松江～境港間 直行バス乗車人数(人)	-	5,044	↗	35,000

【主要事業】

- 広域観光推進事業(県内外の各自治体などと連携した観光施策の展開)



松江・境港・隠岐観光振興協議会
(海士町キンニャモニャ祭りポロシャツを着て
連携観光PR:松江駅国際観光案内所にて)

第2節 観光都市の魅力を高める

3 国際観光の振興

背景・前期計画の取り組み・経過

本市を訪れる外国人観光客はDBSクルーズフェリーの就航や、アジアナ航空の米子ソウル便などにより増加傾向にあります。

前期ではプロモーション活動、観光案内所、パンフレットの多言語化について取り組んできました。今後は、それぞれの国々に応じた情報発信の方法で知名度を上げることに加え、外国人観光客が安心して訪れ、快適に滞在出来るよう二次交通や宿泊施設の充実を図ります。



1

外国人観光客の誘致

〔前期計画P114掲載〕
〈観光振興部〉

【課題】

- DBSクルーズフェリーの境港就航や米子ソウル便などにより、近年外国人観光客が増加傾向にありますが、松江市の観光地としての知名度はまだ低い状況です。また、観光施設や宿泊施設などの受入環境は不十分です。

【施策の展開方針】

- 観光案内所への外国語が出来るスタッフの配置、外国語パンフレットの充実、外国語表記の案内サインの整備を進めます。
- 外国人観光客が快適に滞在出来る宿泊施設や観光施設の充実など、受入体制の整備を進めます。
- 日本国内での二次交通の低廉化や利便性の向上を図るとともに、近隣空港を利用した効果的な広域ルートを創出します。
- 観光地としての知名度向上のため、外国人観光客がよく利用する情報媒体でのアプローチや、海外の旅行会社へのプロモーション活動を行います。
- インバウンド対策としても有効な国際会議の誘致を積極的に行うため、コンベンションビューローとの連携を強化します。

【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
外国人観光入込客数(人) (外国人の観光施設入場者数)	-	40,019	↗	80,000

【主要事業】

- インバウンド観光推進事業
(外国人観光客受入環境整備、情報発信、広域連携によるプロモーション活動)



海外の旅行会社を対象としたモニターツアー



海外の旅行会社との商談会



ウェブサイトでの情報発信